

令和2年度

事業計画書及び収支予算書

公益財団法人 千歳青少年教育財団

目 次

◆ 令和2年度事業計画書	1
I 公益目的事業	
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	3
3 教育機関支援事業	4
◇ 水族館管理運営事業	5
1 サケのふるさと千歳水族館管理運営事業	5
2 年間パスポート会員の募集	8
3 情報提供活動	8
◆ 令和2年度収支予算書	9
◇ 収支予算書	10
◇ 正味財産増減予算書	16
◆ 令和2年度資金計画書	21

令和 2 年度事業計画書

事 業 計 画 書

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日)

I 公 益 目 的 事 業

◇ 教 育 事 業

定款第 4 条第 1 項第 1 号及び第 2 号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 学習講座開設事業

(1) 千歳水族館学習事業（児童・生徒、一部一般を含む）

ア アクアリウム・ナイトツアー

小学校高学年から中学生までを対象とし、千歳水族館に宿泊しながら夜の展示生物観察や飼育業務などを体験する。（夏休み期間中、1 泊 2 日）

イ サーモン・ツアー～早起きはサーモンの徳～

小学校高学年から中学生までを対象とし、早朝の千歳川サケ遡上観察やサケの調理体験など、千歳水族館においてサケシーズンならではの宿泊学習を行う。（10 月上旬、1 泊 2 日）

ウ サケふるセミナー

土・日・祝日を中心に、小学生や親子などの一般来館者を対象にサケの採卵などの体験プログラムやサケ皮クラフトなどの工作プログラムのほか、千歳科学技術大学や北海道大学など、外部機関と連携した教室を開催する。

(2) ジュニア・リーダー活動事業

ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動の活性化を目指し、その中心的な役割を果たすジュニア・リーダーの養成講習会を初級・中級・上級の 3 段階に分けて実施する。また、千歳水族館や魚についての講習会も行い、水族館学習支援活動に必要な基礎知識を学ぶ。（5 月及び 8 月に前期 2 回、12 月及び 2 月に後期 2 回の合計 4 回）

(3) シニア・リーダー活動事業

ア 石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修会

石狩管内子ども会シニア・リーダー及びシニア・リーダーに準じる会員が一堂に会し、レクリエーションの技術交換研修や活動の情報交換をしながら子ども会活動を推進、支援するリーダーの資質向上を目指す。（9 月中旬）

イ シニア・リーダー研修会

子ども会活動及び千歳水族館学習活動を支援するシニア・リーダーが、事業の企画・立案・運営方法の研修を通して、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える能力の育成を図る。（3 月中旬）

ウ シニア・リーダー交流会

道内各地のシニア・リーダーとの交流・情報交換を行うことにより、リーダー間のネットワークの構築と相互の研鑽を図る。（9月、3月下旬）

エ シニア・リーダーわくわく体験教室

シニア・リーダー活動で養った経験・資質を活かして、千歳水族館の入館者を対象に工作教室などを開催しながら、自分たちの活動について広くPRする。
(不定期)

オ 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

シニア・リーダー活動で養った経験・資質を活かして、青少年育成に係る様々な事業への支援活動を積極的に行う。（隨時）

(4) 自然教室

夏休み期間中、小学校4年生から中学校3年生までを対象に、日高での集団宿泊生活や野外活動、さらには自然とのふれあいを通して、団体生活の規律を身に付ける。（8月上旬）

(5) 冬休み体験教室

冬休み期間中、小学校4年生から中学校3年生までを対象に、日高での集団宿泊生活や冬季ならではの体験や社会見学等を通して、団体生活の規律を身に付ける。（1月上旬）

(6) 体験学習

小中学生を対象に、千歳市の特産食材や自然に関する体験教室を行い、地元への关心、知識を深める。（6月、9月）

2 社会教育関連事業

(1) 千歳青少年育成推進員の設置

市内の地域における児童の健全育成対策及び子ども会等青少年育成活動の推進を図るため、千歳青少年育成推進員を設置し、社会教育関連事業や地域の子どもたちの活動に協力する。（委嘱期間2年）

(2) ラジオ体操講習会（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

夏休みの前に正しいラジオ体操の指導方法を学ぶため、町内会等の指導者、ラジオ体操に興味のある一般の方を対象に、NHKラジオ・テレビ体操の講師を迎えて講習会を開催する。（7月上旬）

(3) 緑の村キャンプ大会（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

野外活動や宿泊生活を通して、協力・助け合いの精神を養うとともに、地域や学校を越えた子ども同士の友情を深めるため、町内会と一般の2回開催する。一般は小学校高学年から中学校3年生までを対象に実施する。（7月中旬～下旬）

(4) ちとせの子どもクリスマスの集い（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

幼児、小学校・中学校の子どもたちを対象に、クリスマスにちなんだ創作活動やレクリエーションを通して、相互の親睦を深める。（12月上旬）

(5) ちとせっ子雪あそび(千歳市子ども会育成連合会共催事業)

冬期間運動不足になりがちな子どもたちの体力向上・健康増進を図るため、小中学生を対象に、道の駅サーモンパーク千歳のイベント広場を中心に屋外でのレクリエーションゲームを行う。(2月上旬)

3 教育機関支援事業

(1) 総合的な学習などへの協力

小中学校の「総合的な学習」に対応し、「サケのふ化観察学習」や「放流体験」、「人工採卵・受精体験」、「水生生物観察」、「アイヌ文化学習」など、地域特性を生かした多様な学習活動に積極的に協力するとともに、市内小中学校からの要請に応じて学芸員が出前講座に対応するなど、学校との連携を深める。

(2) 職業体験への協力

小中学校の職業体験や、専門学校生、大学生のインターンシップ、博物館相当施設として学芸員実習などを受け入れ、各種教育機関に幅広く研修の場を提供する。

(3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブが主催する市内小学生と岡山市の小学生とのサケ稚魚の飼育・放流事業に協力する。(1月～3月末)

(4) 各種生涯学習関連事業への協力

科学の祭典千歳大会など市内や札幌市などで開催される各種生涯学習関連事業に協力し、体験メニューなどを盛り込んだブースを出展する。

◇ 水族館管理運営事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 「サケのふるさと千歳水族館」管理運営事業

(1) 常設展示

ア 水槽展示

水量266トンの大水槽をはじめとする大小約40基の水槽で、淡水・汽水域に生息する水生生物約100種を展示する。サケ科魚類だけでなく、国内外の淡水魚類や水生植物、鳥類のカイツブリ、爬虫・両生類、水生昆虫など、河川生態系を構成する生物種を幅広く展示し、生物の多様性や水辺生物への興味関心を高める。

イ 体験コーナー

ウグイ属やチョウザメ類のタッチプールや、ドクターフィッシュ（ガラ・ルファ）体験水槽、アメリカザリガニの釣堀、インディアン水車のミニチュアを設置したドーナツ型流水水槽など、来館者が水辺の生き物と接し、より身近に感じることができる場を設ける。

ウ 大型スクリーン解説映像

およそ100インチの大型スクリーンを用い、千歳川を中心に撮影したサケの生活史や人工ふ化放流事業などについて、約5分間の映像で紹介する。映像は2ブース設け、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外の来館者にも対応する。

エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、千歳川の生き物やその営み、四季折々の環境の変化などを観察する。また、DVDやコンピュータを用いた映像機器などにより、サケの生態や水中観察窓の生物などに関する解説コーナーを設置し、千歳川の魅力を伝え、生物や環境保全へのより深い理解を図る。

オ なるほど!?サーモンルーム（展示・学習ゾーン）

サケと人、千歳との関わりについて、食文化を中心に解説する。サケ漁の歴史や資源増加を図るために人工ふ化放流事業、またアイヌ文化におけるサケ料理や各地域の伝統的なサケ料理法などとともに、様々なサケ料理のレシピも紹介する。

カ 学習室

液晶プロジェクターや50インチプラズマディスプレイなどの映像機器を利用して、採卵実習などの各種体験教室の場として、また幼稚園や学校団体の見学時の講話や質問対応、雨天時の昼食場所などのほか、各団体における会議の利用など、幅広い活用を図っていく。

(2) 企画展示

ア 企画展示

館内のスロープを利用し、常設展示とは異なる様々な生物や環境問題などをテーマとした展示(4~5月「仮 カエル・サンショウウオ展」、7~8月「仮 金魚展」、9~10月「ワイルドライフアート展」)や、写真、絵画等幅広い分野にわたる作品展などを開催し、新たな話題を提供することでリピーターの創出を図る。

イ サケの成長過程による季節展示

親魚が河川遡上する秋季にはサケやカラフトマス、ベニザケなどサケ属の成熟親魚を、また卵からふ化に至る冬季には、卵の発生過程やふ化、仔魚から稚魚への成長の様子など、各季節の成長段階に合わせた展示を行う。

(3) 各種体験学習及びイベント

ア 水族館裏方探検隊（バックヤードツアー）

希望する学校団体やパックツアーなどを対象に、水族館の裏側探検やエサやり体験、また季節によっては展示水槽へのサケ搬入体験などを実施し、水族館についての理解を深める。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使った靴のミニチュアやしおりなどの製作を通じ、サケを無駄なく利用したアイヌ文化の一端に触れる。

ウ サケ稚魚放流体験

サケの回遊ルートやその生態の解説とともに、実際にサケ稚魚の放流を体験し、サケ及び人工ふ化放流事業への理解を深める。(3月~5月)

エ 季節のイベント・体験

ゴールデンウィーク、ハロウィン、鮭の日、クリスマス、お正月などの季節行事に合わせ、より楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施する。

オ ちょこっと体験

冬休みや春休み、土・日・祝日などを中心に、有料でエサやり体験やバックヤードツアーなど、水族館の飼育業務に関する体験を行う。

カ 海と日本 Project 関連事業

回転寿司の北々亭千歳店の協力し、寿司ネタを通してサケの生態や食糧資源としての現状を学ぶ。

キ インスタグラム・フォトキャンペーン

千歳水族館公式インスタグラムを利用し、ホームページ上に導入した来館者が写真を投稿できるシステムによるフォトキャンペーンを実施し、SNSによるフォロワー数の増加と情報拡散を図る。

ク ホタルのタペ（新規）

千歳市内に生息するヘイケボタルについて、成虫が羽化する7月下旬から8月上旬の期間限定で、生態や生息状況等の解説とともに、飼育下における発光の様子などを観察する。

(4) 入館者の拡大推進

入館者の拡大を図るため、館内の魚類等を含めた生体展示の充実に努め、各種企画展やイベントを開催するとともに、次の取組を実施する。

令和2年度入館者数の目標：260,000人（内、有料入館者 162,000人）

ア 団体誘致活動

道内及び道外の旅行代理店等へ修学旅行や団体旅行の誘致活動を実施するとともに、札幌市内を中心とする近隣市町の幼稚園・保育園・福祉施設等へ直接訪問し営業活動を実施する。

また、(一社)千歳観光連盟や(公社)北海道観光振興機構が実施する道外及び海外への観光プロモーションに参加する。

イ 情報媒体を利用した広告宣伝活動

Webメディアを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、ホテル、レンタカー、観光施設等にポスターの掲示やPRパンフレットの配置を行う。

ウ 多言語システムの充実

近年増加している海外からの小団体旅行(FIT)に対応するため、光ID情報提供システム“LinkRay”により、スマートフォンやタブレットにインストールする専用アプリを利用し、展示水槽や生物について英語、繁体語、簡体語、韓国語、タイ語の多言語による解説を閲覧可能とする。また受付においては、多言語に対応した音声翻訳機を接客ツールとして利用する。

エ ネットワークカメラによるライブ映像配信

入館の動機付けのため、公式ホームページにおいてリアルタイムで水中観察窓及びインディアン水車(千歳川)の状況を配信する。

オ 市内小中学生年間パスポートの無料化

市内小中学生の年間パスポートの無料化を継続し、子どもたちへのサケ科魚類等の教育普及を図るとともに、保護者等同伴者も含めた入館者の拡大を図る。

カ 道の駅機能との連携強化

道の駅スタンプラリー帳持参者に対する優待料金の通年適用や、道の駅と水族館の両施設を回遊する謎解きゲームの実施など、道の駅とのコラボ企画等の強化に努める。

キ 来館者のサービス向上の取組

来館者の満足度向上及び千歳のPRを図るため、館内に売店を設置し、水族館のグッズや千歳の特産・名産品などを提供する。

(5) サケのふるさと村教授会との連携

水族館のボランティア組織として、館内の案内業務や各種行事の支援を依頼している「千歳サケのふるさと村教授会」の活動を、メンバー募集や研修面などにおいてサポートし、さらなる連携強化に努める。

2 年間パスポート会員の募集

(1) 個人会員

加入日から1年間何度でも入館できるパスポートを個人に発行し、会員同伴者への団体割引料金適用や、会員を対象としたプレゼント抽選会などの特典を設ける。

年会費：大人・高校生1,500円 小中学生500円

令和2年度 個人会員 目標：6,300人

(2) 法人会員

加入日から1年間1回5名まで何度でも入館できるパスポートを企業・団体等に発行し、6名以上の同伴者の団体割引料金適用や、会員を対象としたプレゼント抽選会等のほか、法人名を表記したプレートを水族館入口に掲示する。

年会費：1口10,000円

令和2年度 法人会員 目標：80口

3 情報提供活動

(1) サモン君だより

館内の展示や観察窓の状況、各種イベントのお知らせなどを掲載した「サモン君だより」を毎月ホームページに掲載して情報を提供する。

(2) ホームページ及びSNSによる情報発信

公式ホームページに加え、Facebook、Twitter、InstagramなどのSNSを活用して各種イベントや企画展示、水中観察ゾーンの状況、サケに関するQ&Aなどの情報を発信するほか、ネットワークカメラによる水中観察室及びインディアン水車のリアルタイムな映像を配信し、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットなど各種デバイスへも対応する。

(3) サモンメール

インターネット接続環境をもつ希望者に対し、展示状況やイベントなどのリアルタイムな情報をe-mailによるメールマガジンにて配信する。

令和 2 年度収支予算書

収支予算書(総括表)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

(単位:千円)

大科目	公益目的事業会計	法人会計	合計	備考
中科目				
小科目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	0	1	
② 特定資産運用収入	2	0	2	
③ 事業収入	101,839	0	101,839	
④ 会費収入	9,620	0	9,620	
⑤ 補助金等収入	129,172	11,455	140,627	
⑥ 施設使用料収入	0	0	0	
⑦ 雑収入	531	0	531	
事業活動収入 計 (A)	241,165	11,455	252,620	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	207,280	0	207,280	
② 管理費支出	0	11,320	11,320	
事業活動支出 計 (B)	207,280	11,320	218,600	
事業活動収支差額 (A) - (B)	33,885	135	34,020	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	25,740	0	25,740	
投資活動収入 計 (C)	25,740	0	25,740	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	43,475	135	43,610	
② 固定資産取得支出	14,300	0	14,300	
投資活動支出 計 (D)	57,775	135	57,910	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△32,035	△135	△32,170	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① その他財務活動支出	1,850	0	1,850	
財務活動支出 計 (F)	1,850	0	1,850	
財務活動収支差額 (E) - (F)	△1,850	0	△1,850	
当期収支差額	0	0	0	

収支予算書(公益目的事業会計)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

(単位:千円)

大科目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備考
中科目				
小科目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	1	0	
1 基本財産利息収入	1	1	0	
② 特定資産運用収入	2	2	0	
1 特定資産利息収入	2	2	0	
③ 事業収入	101,839	96,946	4,893	
1 教育事業収入	999	1,016	△17	参加者負担金
2 水族館管理運営事業収入	100,140	94,730	5,410	水族館入館料外
3 体験料収入	700	1,200	△500	餌やり体験料外
④ 会費収入	9,620	9,620	0	
1 個人会員会費収入	8,820	8,820	0	
2 法人会員会費収入	800	800	0	
⑤ 補助金等収入	129,172	96,305	32,867	
1 教育事業補助金収入	22,316	22,079	237	
2 水族館管理運営事業補助金収入	63,381	58,606	4,775	
3 特定資産取得補助金収入	43,475	15,320	28,155	
4 助成金収入	0	300	△300	
⑥ 施設使用料収入	0	5	△5	
1 施設使用料収入	0	5	△5	
⑦ 雑収入	531	526	5	
1 運用財産利息収入	1	1	0	
2 雑収入	530	525	5	
事業活動収入 計 (A)	241,165	203,405	37,760	

(単位：千円)

大科目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備考
中科目				
2 事業活動支出				
① 事業費支出	207,280	193,738	13,542	
1 教育事業費支出	23,315	23,095	220	
役員報酬支出	444	450	△ 6	教育事業費支出の説明 人件費 16,964 車両リース等経費 994 アクアリウムナイトツアーエフ 69 サーモンツアーエフ 82 サケふるセミナー経費 55 ジュニア・シニアリーダー講習会経費 1,108 自然教室経費 385 冬休み体験教室経費 620 体験学習経費 105 青少年育成推進員経費 968 緑の村キャンプ大会経費 913 子どもクリスマスの集い経費 90 ちとせっ子雪あそび経費 136 子ども会関係経費 338 その他経費 488
給料手当支出	14,018	13,827	191	
福利厚生費支出	2,502	2,468	34	
報償費支出	1,624	1,594	30	
旅費交通費支出	127	135	△8	
通信運搬費支出	193	173	20	
消耗品費支出	988	972	16	
印刷製本費支出	183	183	0	
光熱水費支出	42	42	0	
使用料及び賃借料支出	979	1,053	△74	
車両経費支出	994	944	50	
保険料支出	162	160	2	
手数料支出	4	4	0	
食糧費支出	654	689	△35	
原材料費支出	11	11	0	
負担金支出	321	321	0	
雑支出	69	69	0	
2 水族館管理運営事業費支出	183,965	170,643	13,322	水族館管理運営事業費支出の説明 人件費 69,385 施設維持管理経費 46,222 宣伝活動費 21,884 租税公課 11,515 クーポン券等手数料 2,438 展示魚収集飼育経費 3,379 入場券印刷経費 1,544 車両リース等経費 2,402 イベント開催経費 4,644 電話郵便等通信費 944 電気・機械設備等修繕費 15,223 調査研究費 611 その他経費 3,774
役員報酬支出	1,332	1,348	△16	
給料手当支出	48,433	44,664	3,769	
賃金支出	9,436	7,323	2,113	
福利厚生費支出	10,184	9,133	1,051	
会議費支出	60	40	20	
旅費交通費支出	3,658	3,640	18	
通信運搬費支出	1,088	1,067	21	
備品費支出	0	183	△183	
消耗品費支出	8,045	8,039	6	
修繕費支出	15,223	11,000	4,223	
印刷製本費支出	745	712	33	

(単位：千円)

大科目	中科目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備考
事業活動支出	光熱水費支出	25,535	25,069	466	
	使用料及び賃借料支出	2,880	2,720	160	
	車両経費支出	2,402	2,333	69	
	保険料支出	1,856	955	901	
	手数料支出	2,438	2,624	△186	
	諸謝金支出	321	318	3	
	交際費支出	100	100	0	
	食糧費支出	50	50	0	
	宣伝広告費支出	15,479	15,382	97	
	イベント費支出	4,644	4,613	31	
	委託料支出	16,443	15,744	699	
	原材料費支出	330	327	3	
	租税公課支出	11,515	11,674	△159	
	負担金支出	1,242	1,062	180	
	雑支出	526	523	3	
事業活動支出 計 (B)		207,280	193,738	13,542	
事業活動収支差額 (A) - (B)		33,885	9,667	24,218	

(単位：千円)

大科目		予算額	前年度 予算額	増△減額	備考
中科目					
小科目					
II 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
① 特定資産取崩収入	25,740	11,000	14,740		
1 減価償却引当資産取崩収入	14,300	0	14,300		
2 修繕料積立資産取崩収入	11,440	11,000	440		
投資活動収入 計 (C)	25,740	11,000	14,740		
2 投資活動支出					
① 特定資産取得支出	43,475	15,320	28,155		
1 退職給付引当資産取得支出	1,475	1,320	155		
2 減価償却引当資産取得支出	21,000	2,000	19,000		
3 修繕料積立資産取得支出	21,000	12,000	9,000		
② 固定資産取得支出	14,300	1,490	12,810		
1 建物附属設備購入支出	11,000	0	11,000		
2 什器備品購入支出	3,300	1,490	1,810	フロアマッピング	
投資活動支出 計 (D)	57,775	16,810	40,965		
投資活動収支差額 (C) - (D)	△32,035	△5,810	△26,225		
III 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
財務活動収入 計 (E)	0	0	0		
2 財務活動支出					
① その他の財務活動支出	1,850	3,857	△2,007		
1 1年以内リース債務返済支出	1,850	3,857	△2,007		
財務活動支出 計 (F)	1,850	3,857	△2,007		
財務活動収支差額 (E) - (F)	△1,850	△3,857	2,007		
当期 収 支 差 額	0	0	0		

収支予算書(法人会計)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

(単位:千円)

大科目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備考
中科目				
小科目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
⑤ 補助金等収入	11,455	11,266	189	
1 管理費補助金収入	11,320	11,147	173	
2 特定資産取得補助金収入	135	119	16	
事業活動収入 計 (A)	11,455	11,266	189	
2 事業活動支出				
② 管理費支出	11,320	11,147	173	
1 一般管理費支出	11,320	11,147	173	
役員報酬支出	3,655	3,687	△32	一般管理費支出の説明 人件費 8,220 光熱水費等施設管理費 1,456 財務会計システムリース料 588 税理士報酬等経費 515 その他経費 541
給料手当支出	3,522	3,428	94	
福利厚生費支出	1,043	1,032	11	
会議費支出	20	20	0	
通信運搬費支出	23	18	5	
消耗品費支出	55	55	0	
光熱水費支出	1,456	1,422	34	
使用料及び賃借料支出	588	583	5	
保険料支出	98	48	50	
諸謝金支出	515	509	6	
租税公課支出	332	332	0	
雑支出	13	13	0	
事業活動支出 計 (B)	11,320	11,147	173	
事業活動収支差額 (A) - (B)	135	119	16	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入 計 (C)	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	135	119	16	
1 退職給付引当資産取得支出	135	119	16	
投資活動支出 計 (D)	135	119	16	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△135	△119	△16	
当期収支差額	0	0	0	

正味財産増減予算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

○ 統括表

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増△減額	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
② 特定資産運用益	2	2	0	
特定資産受取利息	2	2	0	
③ 受取会費	9,620	9,620	0	
個人会員会費収益	8,820	8,820	0	
法人会員会費収益	800	800	0	
④ 事業収益	101,839	96,946	4,893	
教育事業収益	999	1,016	△17	
水族館管理運営事業収益	100,140	94,730	5,410	
体験料収益	700	1,200	△500	
⑤ 受取補助金等	140,144	125,612	14,532	
教育事業補助金	22,316	22,079	237	
水族館管理運営事業補助金	63,381	58,606	4,775	
管理費補助金	11,320	11,147	173	
特定資産取得補助金	1,610	1,439	171	
受取助成金	0	300	△300	
受取補助金等振替額	41,517	32,041	9,476	
⑦ 施設使用料収益	0	5	△5	
施設使用料収益	0	5	△5	
⑧ 雜収益	531	526	5	
受取利息	1	1	0	
雜収益	530	525	5	
経常収益計	252,137	232,712	19,425	
(2) 経常費用				
① 事業費	241,696	234,336	7,360	
役員報酬	1,776	1,798	△22	
給料手当	62,451	58,491	3,960	
臨時雇賃金	9,436	7,323	2,113	
退職給付費用	1,475	1,320	155	
福利厚生費	12,686	11,601	1,085	
報償費	1,624	1,594	30	
会議費	60	40	20	
旅費交通費	3,785	3,775	10	
通信運搬費	1,281	1,240	41	
減価償却費	32,941	39,278	△6,337	
備品費	0	183	△183	
消耗品費	9,033	9,011	22	
修繕費	15,223	11,000	4,223	
印刷製本費	928	895	33	
光熱水費	25,577	25,111	466	
使用料及び賃借料	3,859	3,773	86	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増△減額	備 考
車両経費	3,396	3,277	119	
保険料	2,018	1,115	903	
手数料	2,442	2,628	△186	
諸謝金	321	318	3	
交際費	100	100	0	
食糧費	704	739	△35	
宣伝広告費	15,479	15,382	97	
イベント費	4,644	4,613	31	
委託料	16,443	15,744	699	
原材料費	341	338	3	
租税公課	11,515	11,674	△159	
負担金	1,563	1,383	180	
雑費	595	592	3	
② 管理費	12,014	11,850	164	
役員報酬	3,655	3,687	△32	
給料手当	3,522	3,428	94	
退職給付費用	135	119	16	
福利厚生費	1,043	1,032	11	
会議費	20	20	0	
通信運搬費	23	18	5	
減価償却費	559	584	△25	
消耗品費	55	55	0	
光熱水費	1,456	1,422	34	
使用料及び賃借料	588	583	5	
保険料	98	48	50	
諸謝金	515	509	6	
租税公課	332	332	0	
雑費	13	13	0	
経常費用計	253,710	246,186	7,524	
当期経常増減額	△ 1,573	△13,474	11,901	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,573	△13,474	11,901	
一般正味財産期首残高	257,277	263,975	△6,698	
一般正味財産期末残高	255,704	250,501	5,203	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	42,000	14,000	28,000	
一般正味財産への振替額	41,517	32,041	9,476	
当期指定正味財産増減額	483	△ 18,041	18,524	
指定正味財産期首残高	223,869	222,309	1,560	
指定正味財産期末残高	224,352	204,268	20,084	
III 正味財産期末残高	480,056	454,769	25,287	

正味財産増減予算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

○ 会計区分表

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	1	0	1	1	0	
基本財産受取利息	1		1	1	0	
② 特定資産運用益	2	0	2	2	0	
特定資産受取利息	2		2	2	0	
③ 受取会費	9,620	0	9,620	9,620	0	
個人会員会費収益	8,820	0	8,820	8,820	0	
法人会員会費収益	800	0	800	800	0	
④ 事業収益	101,839	0	101,839	96,946	4,893	
教育事業収益	999	0	999	1,016	△17	
水族館管理運営事業収益	100,140	0	100,140	94,730	5,410	
体験料収益	700	0	700	1,200	△500	
⑤ 受取補助金等	128,689	11,455	140,144	125,612	14,532	
教育事業補助金	22,316	0	22,316	22,079	237	
水族館管理運営事業補助金	63,381	0	63,381	58,606	4,775	
管理費補助金	0	11,320	11,320	11,147	173	
特定資産取得補助金	1,475	135	1,610	1,439	171	
受取助成金	0	0	0	300	△300	
受取補助金等振替額	41,517	0	41,517	32,041	9,476	
⑦ 施設使用料収益	0	0	0	5	△5	
施設使用料収益	0	0	0	5	△5	
⑧ 雜収益	531	0	531	526	5	
受取利息	1	0	1	1	0	
雑収益	530	0	530	525	5	
経常収益計	240,682	11,455	252,137	232,712	19,425	
(2) 経常費用						
① 事業費	241,696	0	241,696	234,336	7,360	
役員報酬	1,776	0	1,776	1,798	△22	
給料手当	62,451	0	62,451	58,491	3,960	
臨時雇賃金	9,436	0	9,436	7,323	2,113	
退職給付費用	1,475	0	1,475	1,320	155	
福利厚生費	12,686	0	12,686	11,601	1,085	
報償費	1,624	0	1,624	1,594	30	
会議費	60	0	60	40	20	
旅費交通費	3,785	0	3,785	3,775	10	
通信運搬費	1,281	0	1,281	1,240	41	
減価償却費	32,941	0	32,941	39,278	△6,337	
備品費	0	0	0	183	△183	
消耗品費	9,033	0	9,033	9,011	22	
修繕費	15,223	0	15,223	11,000	4,223	
印刷製本費	928	0	928	895	33	
光熱水費	25,577	0	25,577	25,111	466	
使用料及び賃借料	3,859	0	3,859	3,773	86	

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
車両経費	3,396	0	3,396	3,277	119	
保険料	2,018	0	2,018	1,115	903	
手数料	2,442	0	2,442	2,628	△186	
諸謝金	321	0	321	318	3	
交際費	100	0	100	100	0	
食糧費	704	0	704	739	△35	
宣伝広告費	15,479	0	15,479	15,382	97	
イベント費	4,644	0	4,644	4,613	31	
委託料	16,443	0	16,443	15,744	699	
原材料費	341	0	341	338	3	
租税公課	11,515	0	11,515	11,674	△159	
負担金	1,563	0	1,563	1,383	180	
雑費	595	0	595	592	3	
②管理費	0	12,014	12,014	11,850	164	
役員報酬	0	3,655	3,655	3,687	△32	
給料手当	0	3,522	3,522	3,428	94	
退職給付費用	0	135	135	119	16	
福利厚生費	0	1,043	1,043	1,032	11	
会議費	0	20	20	20	0	
通信運搬費	0	23	23	18	5	
減価償却費	0	559	559	584	△25	
消耗品費	0	55	55	55	0	
光熱水費	0	1,456	1,456	1,422	34	
使用料及び賃借料	0	588	588	583	5	
保険料	0	98	98	48	50	
諸謝金	0	515	515	509	6	
租税公課	0	332	332	332	0	
雑費	0	13	13	13	0	
経常費用計	241,696	12,014	253,710	246,186	7,524	
当期経常増減額	△ 1,014	△ 559	△ 1,573	△13,474	11,901	
2. 経常外増減の部						
(1)経常外収益	0	0	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,014	△ 559	△ 1,573	△13,474	11,901	
一般正味財産期首残高	—	—	257,277	263,975	△6,698	
一般正味財産期末残高	—	—	255,704	250,501	5,203	
II 指定正味財産増減の部						
受取地方補助金	42,000	0	42,000	14,000	28,000	
一般正味財産への振替額	41,517	0	41,517	32,041	9,476	
当期指定正味財産増減額	483	0	483	△18,041	18,524	
指定正味財産期首残高	223,869	0	223,869	222,309	1,560	
指定正味財産期末残高	224,352	0	224,352	204,268	20,084	
III 正味財産期末残高	—	—	480,056	454,769	25,287	

令和2年度 資 金 計 画 書

(単位 : 千円)

受 入 資 金		支 払 資 金	
区 分	受入予定額	区 分	支払予定額
基本財産運用収入	1	事業費支出	194,380
特定資産運用収入	2	管理費支出	11,290
事業 収 入	101,229	特定資産取得支出	43,610
会 費 収 入	9,620	固定資産取得支出	14,300
補 助 金 等 収 入	140,627	その他財務活動支出	1,850
施 設 使 用 料 収 入	0	未 払 金	12,930
雜 収 入	531	預 り 金	14,000
特定資産取崩収入	25,740		
未 収 金	610		
預 り 金	14,000		
合 計	292,360	合 計	292,360
		差 引	0